

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

## 鈴木さんの里から聖域へ

熊野三山(本宮、新宮、那智)に至る熊野古道はいくつかある。大阪から奈良、和歌山をたどる紀伊路は平安時代に後白河院ら上皇・法皇が熊野詣でに使った古道だ。和歌山県海南市は当時から聖域への入り口とされた。市内の熊野古道に沿って歴史的文化財が点在している。

歴代上皇・法皇の熊野詣では延べ 120 回にも上るといふ。京都を出立して往復およそ 25 日をかけて熊野三山を巡った。その道すがら、道しるべも兼ねて「王子」と呼ばれる神社が設けられた。最盛期にはその数は 100 を超えたといふ。海南市にある藤白王子(藤白神社)は中でも格式が高い。「ここから先が聖域とされ、上皇・法皇の一行はここで身を清め、山道に入った」藤白神社の事前に鈴木屋敷がある。実はここ、日本全国の鈴木姓のルーツとされる場所だ。鈴木氏はもともと新宮に住んでいた。平安時代に上皇・法皇の熊野詣でが盛んになると、この他に移り住んだ。一行を熊野三山まで案内するためだ。

その後、鈴木氏は熊野信仰を広めるために海南を拠点に行脚の旅に出た。布教先に留まるものも出て、鈴木姓が全国に広がった。「藤白鈴木家は、122 代目当主が昭和 17 年に亡くなり、途絶えました。でも今も自らのルーツを訪ねて全国から鈴木さんが藤白神社と鈴木屋敷を訪れる」神社には鈴木さん専用の芳名帳がある。

藤白神社を出て 5 分も歩くと山道に折れる。往時をしのばせる古道の始まりだ。「古道は道幅三尺三寸(1 メートル)上皇・法皇の荷物を積んだ車が通れるように整備されました」峠までの高低差は約 260 メートル。目の前は急坂。頼りは自らの行脚力だ。

ここ藤白坂は古代の悲劇の舞台でもある。658 年に孝徳天皇の子・有間皇子が時の権力者・中大兄皇子に謀反を企てたとして絞首刑に処せられた。遺体を葬ったとされる坂の麓に墓碑が立つ。

峻嶮(しゅんけん)な山道は、見上げる高木に阻まれて日が差さない。自動車や電車の音が遠くから聞こえるものの、自然に囲まれた古道は千年以上前から続く原風景なのだろう。淡路島が見渡せる山裾や竹林を抜けて 1 時間。ようやく頂上だ。山頂の地藏峰寺に藤白塔下王子跡が残っている。

「この辺りはミカン発祥の地ともいわれている。」伝承によれば約 2000 年前天皇の命を受けた田道間守(たちまもり)公が中国からミカンの原種・橘(たちばな)を持ち帰り、ここに植えた。所坂王子跡に立つ橘木神社は田道間守をまつり、毎年 10 月にはミカン祭りを開催する。

## 1. 1月の主な活動内容

- ①12月23日(水) 20名 友の会望年会、炭小屋整理
- ②12月26日(土) 20名 炭小屋まわり整理・清掃、ZFC通信印刷発送、納会
- ③1月9日(土) 19名 活動始め、竹材伐採、竹材づくり
- ④1月11日(月) 4名 保全管理勉強会(12～15 於センター)
- ⑤1月13日(水) 11名 SF準備
- ⑥1月16日(土) 22名 炭小屋裏斜面間伐、垣根づくり、運営会

## 2. 運営会の報告

- ①スプリングフェアが横浜公園にて4月15日(金)16日(土)17日(日)の三日間開催されることが正式に決定した。これに伴う各自の出品予定を橋本あて2月運営会(2月20日)までに報告願いたい。
- ②2月20日「炭焼き体験会」の実施要領について確認を行なった。
- ③薪割り機が市より貸与されることになり、ZFCで使用できることになった。  
(詳細は追って検討)

## 3. 2月活動予定

- ①1月20日(水) SF準備
- ②1月23日(土) 間伐体験会、ドラム缶炭焼、ZFC通信印刷発送、ZFC新年会
- ③1月27日(水) SF準備
- ④1月30日(土) 垣根作り、クヌギ林草刈り、炭窯出し、竹(炭材)伐採
- ⑤2月3日(水) SF準備
- ⑥2月6日(土) ドラム缶炭焼き用炭材用意、炭小屋裏斜面間伐
- ⑦2月10日(水) SF準備
- ⑧2月11日(木) 保全管理勉強会(センター)
- ⑨2月13日(土) 池の上斜面地草刈り
- ⑩2月17日(水) SF準備
- ⑪2月20日(土) ドラム缶炭焼き体験、ホダギ玉切りの運搬・搬入、運営会
- ⑫2月24日(水) SF準備
- ⑬2月27日(土) 炭窯出し、垣根作り、ZFC通信印刷発送



以上